

出血箇所を確認の後、腹膜を連続ないし結節縫合する。このとき、付属器や子宮円索の断端は巾着縫合で埋め込む。

13) 腹壁縫合

ガーゼカウントの後、3層に縫合する。

(3) 腔式子宮全摘術(Vaginal total hysterectomy)

1 長所と短所

長所としては、(1) 腹部に傷がつかない、(2) 術後回復が早い、(3) 医療経済的にすぐれている、などがあり、婦人科に特有の術式である。しかし短所として、(1) 術野が狭く、手術適応は限られる。子宮の大きさは概ね手拳大まで、(2) 骨盤内癒着があると手術が困難、(3) 腔の伸展性に大きく依存する、(4) 卵巣病変に対し、術式を広げることができない、などがある。

2. 手術術式

1) 子宮腔部の輪状切開

切開部に20万倍ボスミン生食水30mlを注入した後、通常外子宮口より約2cmの高さで子宮頸部前面にメスで横切開を加え、ついでこれを全周性に広げる。このとき、腔壁切開の深さは腔壁全層に至る程度とする。

2) 開腹

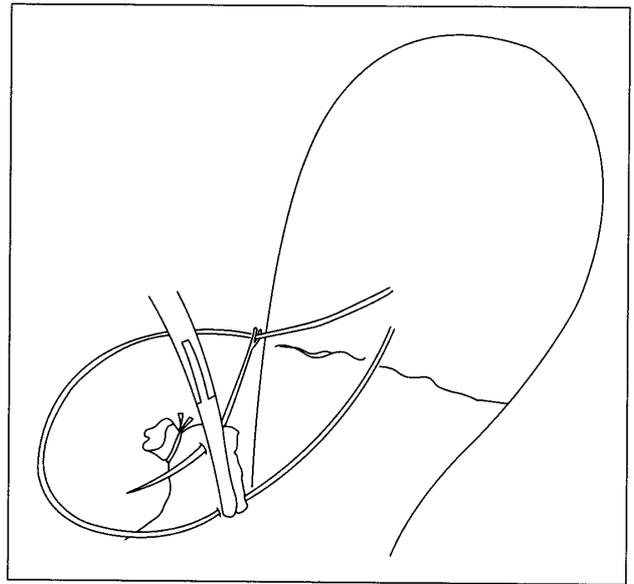
前方の腔壁切開部から膀胱を示指で鈍的に剥離し膀胱子宮窩腹膜に達し、腹膜を切開して腹腔に達する。腹膜は左右に切開・延長する。両側腔壁の切開が浅いと、ただちに膀胱子宮窩腹膜に到達できないことがある。このようなときは後方の腔壁切開部からダグラス窩を解放し、ついで把持子宮を左方に牽引しながら右側腔側壁を伸展し、切開処理(反対側も同様)すると子宮が下がってきて膀胱子宮窩腹膜に達しやす。以下、把持子宮は常に手術操作と反対側に牽引する。

3) 仙骨子宮靱帯の処理

子宮側壁腔粘膜を鈍的にこすりあげ、子宮靱帯鉗子(直あるいは曲ペアン鉗子)の片方の歯をダグラス窩に挿入し、一側の仙骨子宮靱帯を挟鉗・切断し、#1~#1-0吸収性合成糸で縫合結紮する。対側も同様に処理する。

4) 子宮血管の処理

子宮血管部結合組織を剥離鉗子で処理した後、子宮血管と子宮頸実質側壁の間に後方から(ペアン)止血鉗子を挿入し(図6)、歯を開いて隙間をつくる。ついでここに第2の鉗子の一つの歯を挿入して挟鉗・切断・縫合結紮する。子宮血管をこのように浮かせなくとも、子宮血管の処理は可能であるが、この方法で確実に処理できる。子宮血管は頸管断面を四角に例えるなら、側面の中央ではなく、上1/3部を走っている。以上の操作で基靱帯の大部分は処理されてしまう。



(図5) 子宮頸部靱帯処理時の第2, 第3切断, 結紮におけるQ字縫合

5) 膀胱子宮靱帯の処理

尿管の走行を再度 snapping sensation で確認した後, 膀胱子宮靱帯を挟鉗 切断 縫合する これは3)の操作と相前後することもある

6) 子宮の反転

子宮側面に沿って, 基靱帯の少し上方の結合組織まであらかじめ処理しておくことと反転が容易になる 子宮体部をマルチン単鉤, あるいはミューゾー双鉤鉗子などで把持 牽引しながら前方, または後方から体部を腔外に引き出し, 反転させると子宮円索と付属器の子宮附着部とが術野に現れる 子宮体部が大きいときにはこれを左右に切半するか, 筋腫核を細切(morcellation)して縮小してから子宮体部を反転する

7) 子宮円索, 付属器の処理

操作しやすい側の子宮円索および付属器(卵管, 卵巣)附着部を一括して, あるいは別々に挟鉗 切断 縫合結紮する 切断端はかなり太いので, 8字縫合と単結節の2重結紮を行い, その縫合糸は切らずに手術布に止めておく 対側も同様に処理する

8) 腹膜縫合

膀胱子宮窩腹膜を連続または結節縫合後, 子宮円索, 子宮付属器断端のすべてが腹膜外に出るよう, 相対する断端縫合糸を腹膜外で結紮する この結紮は術後の腔・膀胱 直腸脱に役立つ。

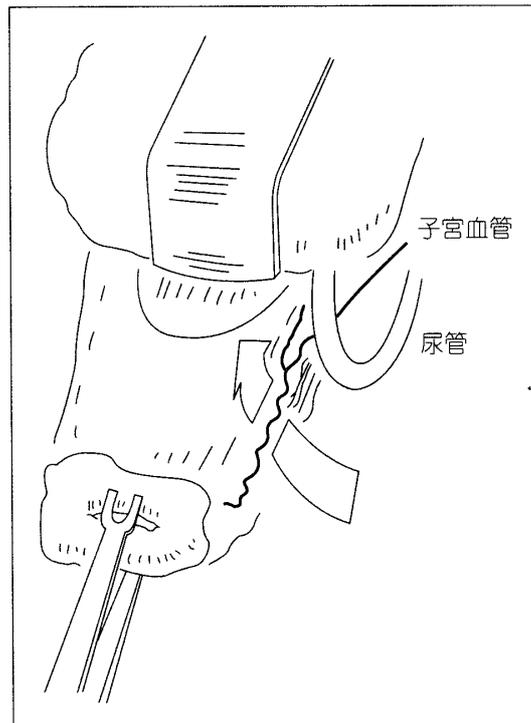
9) 腔断端の縫合

出血を確認する 特に付属器断端の出血に注意する 吸収性合成糸により, 腔断端を結節あるいは連続縫合で開放的に処理して手術を終了する 腔壁を閉鎖するときは, 中央部にガーゼドレーンなどを置き, 後日抜去する

《参考文献》

- 1) 永田一郎 産婦人科手術の基本 東京 医学書院, 1997, 60—122
- 2) 森 崇英, 藤井信吾 図解腹式単純子宮全摘術—尿管との位置関係を中心に— 東京 南光堂, 1988, 36—72
- 3) 工藤隆一, 寒河江 悟, 早川 修, 伊東英樹 腔式手術の基本操作と実際 産婦治 1997, 74(増刊号) 642—651

〈半藤 保*〉



(図6) 子宮血管捕捉のための鉗子の挿入位置と方向

*Tamotu HANDO

*Emeritus Professor, Department of Perinatal-Gynecology, Kagawa Medical University, Kagawa

Key words Conization Abdominal hysterectomy Vaginal hysterectomy LEEP
(Loop electro-surgical excision procedure)